

# 田辺かずき

## 県政報告

古賀発！たたいま  
県政刷新中！

第4号

2011年12月吉日発行

〈田辺かずき事務所〉

〒811-3103 福岡県古賀市

中央 1-6-41-203

TEL : 092-692-8510

FAX : 092-410-7730

メール : challenge@

tanabe-kazuki.jp

【裏面も】◎農業の現場を視察。先端医療、国際化◎古賀から文化発信

# 地域介護と防災教育の充実を！

### 田辺一城の 発信箱

□地元を  
駆ける日々  
毎日が目まぐるしく過ぎます。夏祭りを終え、

秋に入り、文化、スポーツをはじめ地域のイベントが盛りだくさんの日々。さまざまな場面でみなさんとお話しさせていただき、ありがたく思います。古賀の年末といえどもちつき。また、地域の防犯活動に取り組む皆さんにも敬意を表します。

### □介護と防災に成果

9月議会の一般質問では、地域共生型介護のあり方を知事に問いました。高齢社会に突入しているのに、県の将来像が明確ではなかったためです。特に、古賀でも頑張っている「宅老所」の支援を求め、知事は前向きな



▼取り組みを約束。また、東日本大震災を受け、来年度に防災教育の「研究指定校」を設置するよう提案し、教育長が受け入れました。

### □新事務所OPEN

11月1日、事務所を古賀市役所前に開設しました（本紙題字下に住所）。月・火・木・金の午前9時半～午後5時半に開いています。地域のご要望やご連絡をはじめ、

▲気軽に立ち寄っていただきたく思います。政治活動のさらなる充実のため、「声」を聞かせてください。

### □再び一般質問へ

12月議会は12月1日、20日です。再び一般質問で登壇します。地元の活動や全国各地の視察を踏まえ、今回も知事にしっかりと問題提起し、前向きな回答を引き出すべく臨みます。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

### ～田辺の一般質問のポイント（9月議会）～

質問のテーマ	答弁者	答弁の内容＝成果
宅老所などの地域介護の充実を	知事	社会のニーズ、実態を把握し、支援を考える
防災教育の研究校を指定すべき	教育長	県内の小中学校に研究指定校を設置する

### 政治活動を連日発信中！▶▶▶

ブログ(活動日記) <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>  
公式ホームページ <http://www.tanabe-kazuki.jp/>

### 行政による在宅支援を

宅老所は民家を活用し、デイサービスに宿泊を伴います。高齢者家族と信頼関係を築いて地域に根差し、アットホームな雰囲気の中で、在宅介護を協力にサポートしています。しかし法令に定義が関わりなく、知事主導で普及に取り組む政策を展開してきました。県内で「全小学校区に1カ所」を

今回の一般質問をするに当たり、福岡県内外の宅老所を訪ねました。地元・古賀の「ひより茶屋」（古賀市花見東7丁目）の、

### 介護の未来—— 宅老所を視察

菊池晶誉さん、全国に先駆けて開設した「宅老所よりあい」（福岡市中央区）の下村恵美子さんには大変お世話になりました。

裏面へ  
つづきます



宅老ちよだにて

地域共生介護

# 田辺「県独自に宅老所のサポートを」 知事「今後ますます必要。支援検討」

一般質問の柱は「地域共生型介護のあり方（高齢者福祉）」と「防災教育の具体的な制度設計」です。いずれも私たちの生活を守るための重要課題と考えました。また分権改革の意味合いもあり

県が独自にその存在を認めるべきではないかと問題提起しました。知事は「地域共生型介護は今後ますます必要」と問題意識を共有し、宅老所を高く評価。「経営の実態や地域で果たしている役割を十分把握したい。地域共生型介護の望ましいあり方を描きながら、支援のあり方を検討したい」と約束しました。

## 田辺「研究指定校を設置すべきだ」 教育長「小中学校において設ける」

### ②防災教育

東日本大震災では、平時の防災教育が子どもたちの「主体的な避難」につながった釜石市の事例などが報告され、文部科学省の有識者会議も新たな防災教育のあり方を提起しています。田辺は「県として独自に実効性のある防災教育を展開する必要があり、『研究指定校』の設置を検討すべきだ」と求めました。杉光誠教育長は「小中学校において研究指定校を設け、効果的な指導方法や今後の防災教育のあり方について研究したい」と明言しました。

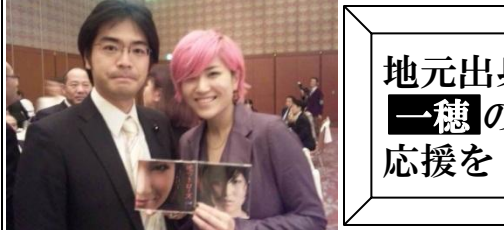


健康福祉まつりで



みなさんとともに古賀での活動

文化とスポーツ、イベントの秋。母校・古賀市の文化発表会では「合唱コンクール」を鑑賞し、私もクラス一丸となって練習した思い出が頭をよぎりました。地域や団体の皆さんが主催する文化祭やフェスタ、健康福祉まつり、市民体育大会、駅伝、グラントゴルフ、弓道の射会、古賀神社や五所八幡宮の放生会にも。古賀市市民劇団「MILK」の公演は感動しました。日々、古賀の「地域の底力」を感じています。挨拶の機会を多くいただき、感謝します。



### 地元出身一穂の応援を！

古賀競成館高校の創立50周年記念式典にもお招きいただきました。出会ったのが、同校卒業生で古賀出身のシンガーソングライター、一穂(いちほ)さん。彼女の歌声からは「生きる意志」を感じます。ぜひ、地元から盛り上げていきましょう！！

## 現場から学ぶー農業、先端医療



農業の新品種開発を現場視察

9月議会の終了後、11月には、福岡県内や全国の先進地の事例を学ぶため、所属会派や委員会、個人の視察を充実させました。鹿児島では、がんの粒子線治療研究センターや精神障がい者の雇用に取り組み出版社、学力・体力で幼児の潜在的な力を引き出す保育所へ。国際都市・神戸では災害に備えた多文化共生を

## 子どもの教育、障がい者雇用

大阪では関西経済連合会を訪問。果樹振興議員連盟のメンバーとして、農業総合試験場(筑紫野市)やJAにじ園芸流通センター(うきは市)を訪ねました。また、宮崎県の政治スクールに招かれ、分権・政治改革などについて話しました。

後援会は10月22日、県政報告会「田辺かずき県議を囲む会」を千鳥苑で開催しました。当日は、来賓の皆様をはじめ多くの方に足を運んでいただき、本当に感謝しています。田辺からは、これまで見えなかった県議会の実態、分権改革のあり方、県と市が連携しての問題解決の重要性をお伝えし、皆様との懇親も有意義なものとなりました。

### 田辺かずき県議を囲む会



### サポーター登録のお願い

県議としての活動を多くの人に知ってもらうため、皆さんのお力を少しずつ貸していただきたく思います。この県政報告をご近所やお知り合いに配布していただける方は、事務所(092-692-8510)にご連絡ください。

### 後援会から

後援会員を募集しています。入退会は自由。後援会は2010年12月以降、ハガキなどの所定の用紙で登録いただいた方を会員とし、田辺自身の執筆による「県政報告」を郵送しています。「政治家には説明責任があり、自らの活動の詳細を有権者の方にお知らせする義務がある」との強い思いからです。会員に特段の義務は発生しません。後援会規約をご所望の方、また会員であることが不都合な方は事務所までご連絡ください。なお、これまで「対話集会」にご参加いただいた方などにも県政報告を郵送しています。

ブログ <http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>  
公式HP <http://www.tanabe-kazuki.jp/>

### <田辺かずきプロフィール>

- 1980年5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社/福岡支局 配属
- 原発事故や災害弱者、日本人拉致問題などを取材
- 大阪本社社会部 配属
- 橋下徹・大阪府知事、大阪府警、甲子園などを担当
- 福祉問題、地域活性化、国際紛争などにも取り組む
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 毎日新聞社 退社
- 【所属】厚生労働環境委員会、国際交流推進対策調査特別委員会、民主党福岡県第4区総支部 幹事長、民主党福岡県連「青年・国民運動委員会」副委員長
- 【家族】会員の妻、4歳の長男、1歳の長女
- 【最近のおすめ】高校時代からファンの作家、平野啓一郎氏の初の長編恋愛小説「かたちだけの愛」は期待通りの世界観。巧みな筆致に感動。九州国立博物館で開催された「草原の王朝 契丹」は美しい文化遺産の数々に目を奪われました。
- 【県議会棟に行く車内で聞くエフエム福岡「モーニングジャム」にはまっています。